

取揚總數中大小別	重量	尾數	一尾重量	尾數割合
大	44,438	230	193.2	41%
中	36,337	249	145.9	44%
小	7,800	87	89.6	15%

大及中ハ上市形以下繰越

五、摘要 本試驗ノ取揚量ハ放養量ノ二・六倍ニ達スルノミナラズ、尾數歩留亦良好ニシテ、加フルニ總取揚量中九二%ハ上市形ヲ以テ占ム。今試驗ノ成績ヲ基礎トシ一町步收支ヲ豫想スルニ、飼育期間同様ナル種苗三〇・八瓦、黄花魚ノミ投餌ニヨル餌料試驗ノ同様收支ニ比シ、其ノ利益優ルヲ見ル。今若シ放養量ヲ増シ、更ニ干鰻量ヲ節スルニ於テハ之ヨリ以上ノ好成績ヲ期待スベク、種苗ノ大ナルヲ選ブハ鰻養殖上有利ナル一條件ナルガ如ク認メラル。

一町步一期間利益比較

大形種苗飼育(飼料黄花魚五二%、干鰻四八%) 一、一六一・〇〇圓

小形種苗飼育(餌料黄花魚ノミ) 八二五・六八圓

今兩者條件ノ差異比較及本試驗成績ニ基ク收支表ヲ掲グレバ次ノ如シ。

	餌料試驗(黄花魚)	大形種苗養成
放養時一尾平均體形	30.75	54.60
坪當放養量	375.00	277.50
期間	6月10日ヨリ152日	6月20日ヨリ153日
餌料割合	黄花魚ノミ	干量ニテ魚肉52% 干鰻48%

收支表 (一町步當大形種苗ニヨルモノ)

種別	數量	單價	金額	摘要
種苗	833	0.98	816.34	坪 277瓦
魚肉	4,850	0.07	339.50	取揚ハ放養ノ2.6倍 餌量ハ増肉ノ3.5倍 内、魚肉52% 干鰻48%
干鰻	2,240	0.13	291.20	
食鹽	1,616	0.45	72.72	
借地料	—	—	100.00	
備付	—	—	180.00	
人夫賃	50	0.70	35.00	
雜費	—	—	100.00	
支出計	—	—	1,934.76	
取揚鰻	1,992	1.44	2,928.24	取揚ノ92%
繰越	174	0.98	167.52	
收入計	—	—	3,095.76	
差引利益	—	—	1,161.00	

(四) 鹹水池養鰻豫備試驗

一、目的

南部地方ニ於テハ淡水養魚池ノ多クハ雨水ニヨルモノ多ク、直接河水ヲ引用シ得ルモノ少シ。從テ放養率大ナルニ從ヒ、鼻上ノ危險ヲ伴フヲ以テ、潮汐干満ノ利用ニヨル換水ノ便ヲ考慮シ、虱目魚養魚池帶ノ純鹹水池ニ於ケル鰻養殖ノ成績如何ヲ試驗セントス。

二、方法

試驗池 臺南支場ノ四坪煉瓦池三池、水深約六〇糎。

池水比重 一・〇一〇ヲ標準トス。

種苗 支場分室ニ於テ或期間餌付シタル一五瓦内外ノ種苗。

坪放養率 比較ノ爲坪一八七・五瓦(C池)、三七五・〇瓦(B池)、五六二・五瓦(A池)ノ三種トス。

餌料 黄花魚ハ鹽藏品ニシテ、一日一回夕刻ニ於テ針金ニ貫キ垂下ス。

期間 七月一日ヨリ十一月一日ニ至ル一二三日間。

三、經過

(イ) 池水溫

試驗池	午前十時			午後二時			
	A	B	C	A	B	C	
7月	上旬	30.2	30.3	30.4	30.8	30.9	31.0
	中旬	27.8	27.9	28.0	28.6	28.6	29.3
	下旬	29.1	29.0	28.7	31.6	31.2	31.3
8月	上旬	30.0	29.5	29.4	31.2	30.1	31.2
	中旬	27.8	28.1	28.2	27.8	28.7	28.6
	下旬	28.5	28.0	29.0	29.9	30.2	30.1
9月	上旬	27.5	28.0	28.2	28.9	29.5	29.3
	中旬	27.7	27.8	27.7	28.5	29.2	29.5
	下旬	28.6	28.6	28.0	30.7	30.4	30.4
10月	上旬	28.4	28.0	27.8	30.3	29.6	29.6
	中旬	28.0	23.2	23.5	26.0	25.0	25.3

(ロ) 比重及酸素量

試驗池	比 重			酸 素 量			
	A	B	C	A	B	C	
7 月	上旬	9.44	8.33	9.49	0.3401	0.3700	0.5547
	中旬	10.81	10.52	9.86	0.8079	0.8124	0.9144
	下旬	10.70	11.21	10.79	0.4851	0.7849	0.7825
8 月	上旬	16.67	7.35	16.65	0.3989	0.7350	1.1731
	中旬	12.48	10.36	13.96	0.2707	1.0366	1.2877
	下旬	13.81	8.04	12.63	0.3078	0.8039	0.7989
9 月	上旬	10.64	13.15	10.69	0.3776	1.3147	0.7483
	中旬	7.13	11.72	8.12	0.4865	1.1721	0.9754
	下旬	9.33	8.70	8.79	0.6857	0.8697	0.7131
10 月	上旬	12.49	8.01	11.24	0.4875	0.8011	0.6002
	中旬	20.40	欠	21.03	欠	欠	欠
	下旬	12.16	欠	12.91	欠	欠	欠

四、成績

試驗池	C	B	A	
坪放養率	187.5	375.0	562.5	
尾數	放養時	52	102	148
	取揚時	47	76	123
尾數歩留	放養時	89	75	83
	取揚時	89	75	83
重量	放養時	0.750	1.500	2.250
	取揚時	4.125	3.525	3.525
放養量ニ對スル取揚量	5.5	2.35	1.57	
増量	3.375	2.025	1.275	
給餌量	11,485	12,797	13,528	
増肉ニ要スル餌量	3.4	6.3	10.6	

五、摘要

狹隘ナル煉瓦池内飼育ノ結果ヲ以テ、直チニ一般鹹水池ニ適用シ難カルベキモ、以上成績ニヨレバ低比重ノ鹹水池ニ於ケル鰻飼育ノ可能ナルヲ證スルノミナラズ、適當放養率ヲ以テセバ成育迅速ナルガ如シ。尙重ネテ相當面積ノ鹹水池ニテ試驗スルモ同様結果ヲ見ルニ於テハ、地價、水利等ノ關係ヨリ、虱目魚池ヲ改造シテスル養鰻及干潟利用養魚池ノ、養鰻等交通便ナル區域ニテハ有望ナルヲ推斷シ得ベシ。

第五章 鰻ニ關スル試驗

(一) 臺灣鰻産卵孵化試驗

一、目的

臺灣鰻ハ形態、色彩ニ於テ内地鰻ト識別スルヲ得。且内地ニ於ケル市價低廉ナルヲ以テ、之ヲ飼育シテ内地輸送ヲ計ルモ、引合ハザル豫想ヲ有スルモ、單ニ島内消費目的ノ孵化養成ハ有利ナルヲ以テ、先産卵孵化ニ就キ試驗セントス。

二、方法

産卵地 四アール池 二池
 水深 各〇・九米
 圍 柵 一池ハ割竹垣、一池ハ板圍
 産卵場 各地兩側ニ幅二米ノ土盛ヲ爲シ砂ヲ掩ヒタルモノ
 親鰻數及體重

	♂	♀	性不明	計
割竹圍池	15	23	3	41
板圍池	14	23	—	37

孵化装置

早朝産卵場ノ砂ヲ掘リ返シ産卵アル時ハ取り出シ、別ニ設ケン温室様屋内ニテ孵化ヲ計リタリ。孵化室ハ幅二・七米、長五・五米、梁下一八〇樞、桁下六〇樞、木造ニシテ屋根ハ硝子張トシ、東西ニ扉ヲ設ク。室内ニハ杉板ヲ以テ長四〇樞、幅二四樞ノ區劃、三列十七區劃ヲ設ケ、砂ヲ盛リ一隅ニ孵化兒ノ落ち込ム壺ヲ埋設ス。

尙屋根裏ニハ白金巾カーテンヲ張り、強烈ナル日射ヲ緩和スルニ便セリ。

稚兒飼育

一アール、コンクリート、一池ヲ使用、水底ニハ一五樞ニ泥土ヲ盛り水深七五樞トス。

三、経過

(イ) 産卵表(二池ヲ合算シタルモノ)

月日	腹數	卵數	月日	腹數	卵數	月日	腹數	卵數	月日	腹數	卵數
3-29	2	13	4-17	2	25	5-2	1	14	5-16	1	14
〆-30	2	21	〆-20	1	17	〆-4	1	18	〆-18	1	28
4-1	1	14	〆-24	1	10	〆-9	2	21	〆-21	2	21
〆-8	1	10	〆-27	1	22	〆-11	1	19	〆-22	1	14
〆-16	1	21	〆-30	1	18	〆-13	1	21	〆-23	2	25

月日	腹數	卵數	月日	腹數	卵數	月日	腹數	卵數	月日	腹數	卵數
5-26	2	34	6-17	1	10	7-20	1	17	8-15	6	89
ク-27	1	12	ク-19	1	10	ク-22	4	33	ク-18	2	24
ク-29	1	10	ク-22	1	7	ク-23	4	52	ク-19	2	30
ク-30	1	17	ク-23	2	26	ク-24	1	6	ク-25	5	66
6-2	1	6	ク-25	1	13	ク-30	1	11	9-1	5	91
ク-3	1	11	7-5	6	78	8-3	3	37	ク-16	4	53
ク-4	1	15	ク-10	1	12	ク-5	9	108	10-2	4	74
ク-6	2	23	ク-13	5	74	ク-9	2	17			
ク-13	9	109	ク-14	4	37	ク-11	2	17			
ク-15	2	28	ク-15	3	30	ク-12	1	9			

(ロ) 月別産卵及其孵化數

月	産卵回数	卵數	一回ノ平均卵數	孵化數
3月	4	44	11.0	44
4月	9	137	15.2	84
5月	18	268	14.9	202
6月	22	258	11.8	197
7月	30	350	11.7	162
8月	32	397	12.5	186
9月	9	144	16.0	51
10月	4	73	18.5	孵化セルモノナシ
計	128	1,671	13.0	926

但シ孵化ハ五月二十三日ニ始マリ十二月五日終了ス。

(ハ) 月別平均孵化室温度 (毎日午前10時砂表面下5寸ノ處觀測)

月	平均地温	平均孵化日數
3月	25.7°C	70
4月	26.4	66
5月	27.7	60
6月	28.5	53
7月	29.7	46
8月	27.0	54
9月	欠	73

(ニ) 幼鰻ノ成長

孵化ニ從ヒ鰻兒ニハ逐次黄花魚及鱈ノ鹽藏品ヲ投餌シテ飼育シタリ。

六年十一月二十七日ノ總數ヲ測定セル平均次ノ如シ。

大小別	總重	尾數	平均體重	飼育煉瓦池
大	17,887	300	59.6	1「アール」池
中	7,483	250	29.9	1/4「アール」三池
小	850	149	5.7	1/4「アール」池
計	26,220	699	總平均 37.5	

上測定迄ニ要シタル餌量(生) 121,195 瓦トス

四、成績

産卵期 三月二十九日ヨリ十月二日ニ至ル。

一回平均産卵數 一三、〇五

一頭ノ子ヨリ得ル卵數平均 三六、三二

孵化率 五五、四%

但シ無精卵(二四三個)ヲ除ケバ 六四、八%

孵化終了期ニ於テ子一頭ヨリ得タル幼鰻數 一五、四

五、摘要

臺灣鰻ノ産卵孵化成績ハ前年度産卵期中途ヨリ試験ヲ開始シ、結果明瞭ヲ缺キシモ、本年ハ稍明ニ産卵期ヲ通シ産卵孵化ノ經過ヲ知り得タルモノト信ズ。即大體一頭六〇〇瓦ノ鰻ヨリ孵化終了期ナル十一月末ニ於テ約一五頭ノ幼鰻ヲ得ルモノナルヲ知ル。

(附) 雌雄一番ニ依ル産卵試験

單ニ雌雄ノ鰻各一頭ヲ一池ニ放養セル時其一頭ノ鰻ヨリスル産卵状態ヲ檢スル爲¹/₄「アール」煉瓦池二池ニ、各一番ヲ收容シ、一池ノ一週ニ産卵場トシテ板圍土留ヲ施セル上ニ土砂ヲ盛りタリ。

親鰻ハ一月二十一日放養、其ノ體形及産卵關係次表ノ如シ。

	A	B
體重 { 公	1,894	938
{ 子	1,800	1,069
産卵終始	5月5日ヨリ8月13日	4月27日ヨリ5月14日
産卵回数	3	2
産卵數	32	18
孵化數	16	18
一頭ノ産卵數	32	18
一回ノ産卵數平均	11	9
孵化率	50%	100%

(二) 二歳龜養成試驗

一、目的

内地種臺灣種ノ兩者ニ付成長ヲ比較シ、併セテ内地ニ於ケル飼育ニ比シ、高温ニヨル索餌期長キヨリ生ズル龜成長ノ相異ヲ比較セントス。

二、方法

一アール煉瓦池ヲ四等分シタル一區劃ニ各種ヲ放養シ、鱗生肉ヲ以テ飼育ス。八月「オタフク病」ニテ斃死續出後黄花魚ニ改ム。

三、經過成績

本島産龜ハ昭和五年七月二十五日ヨリ十月二日迄ニ孵化シ、九月十日ヨリ一勢ニ投餌ヲ開始セルヲ以テ、孵化直後ヨリ投餌スル場合ニ比シ成長速ニ後レシモノトス。

内地種ハ豐橋ニ於テ五年九月中孵化シ、冬眠状態ニアルモノヲ、六年二月臺灣ニ轉送セルモノトス。

今其時々ノ測定ニ依ル平均體重ヲ比較セバ次ノ如シ。

月 日	臺 灣 龜			内 地 龜		
	甲 長	體 重	頭 數	甲 長	體 重	頭 數
5年10-2	2.8	5.0	70	—	—	—
6年1-7	4.6	16.2	62	—	—	—
ク 2-5	—	—	—	3.1	5.6	100
ク 5-7	5.8	25.5	62	4.7	17.9	97
ク 8-3	欠	105.0	62	欠	77.3	92
ク 9-8	10.1	162.0	47	9.2	120.0	71
ク 12-23	12.1	252.0	23	10.5	188.0	55

四、摘要

兩者ノ成長比較ハ同時期、同體重ナラザル遺憾アルモ、内地種ノ成長ハ臺灣種ニ比シ本年度中ハ稍遅レ、低温期ニ向フニ從ヒ漸次成長遅緩ノ傾向ヲ帶ビタリ。

飼育中個體ノ減數著シキハ六月下旬以後「オタフク」病ノ症狀現ハレ、八月ニ於テ其被害甚ダシク、池底ノ消毒、換水、餌料ノ轉換、藥物塗布等ノ手當ヲ爲セルモ其勢力俄ニ衰ヘズ、内地種四五%、臺灣種六七%ヲ失ヒタリ。其ノ主ナル原因ハ腐敗ニ傾キ易キ魚肉ヲ餌料トシテ、繼續セルコト及久シク止水状態ニ放置セルヲ主ナル原因ト爲スガ如シ。

(三) 内地親龜飼育

一、目的

産卵孵化試驗及種苗養成用準備トシテ充分ナル親龜ノ養成ヲ計ラントス。

二、方法

試験池一アール板圍ヲ施セルモノハ放養ス。餌料ハ黄花魚鹽藏品ヲ與フ。

三、經過、成績

購入先ハ滋賀縣大津ニシテ、琵琶湖産天然龜ニシテ昭和六年十一月十三日到着、一旦煉瓦池ニ收容後昭和七年一月三十日右試験池ニ放養ス。

次記ハ到着時體形ニシテ、年度内測定ヲナサズ。

總 數 二五頭
平均甲長 二二・四種 平均體重 一、三七〇瓦

	♀ (13頭)		♂ (12頭)	
	甲 長	體 重	甲 長	體 重
平 均	23.1種	1,534瓦	21.6種	1,163瓦
最 大	26.0	2,130	25.2	1,930
最 小	18.8	830	19.2	680

(附) 臺南支場北方水路四孔橋ニ於ケル高潮時水温、比重(毎日晝間一回觀測)

	水 温			比 重		
	平 均	最 高	最 低	平 均	最 高	最 低
6年-1月	20.4	28.5	11.2	28.02	29.68	26.38
ク -2月	21.7	26.0	15.6	28.60	30.68	25.37
ク -3月	22.9	27.0	18.5	27.06	28.80	23.81
ク -4月	26.4	31.0	21.5	23.54	34.74	10.81
ク -5月	29.2	34.5	26.5	21.70	25.97	14.17
ク -6月	29.3	34.5	27.3	13.59	20.05	4.56
ク -7月	31.1	35.0	26.5	16.28	22.98	6.55
ク -8月	30.6	34.5	27.0	19.34	24.42	14.00
ク -9月	30.5	33.3	26.5	14.69	20.39	6.84
ク -10月	27.2	33.0	23.5	24.13	25.80	20.50
ク -11月	24.0	29.5	17.2	25.50	27.06	23.03
ク -12月	20.4	24.8	16.5	26.73	27.76	25.40
平 均	26.14	—	—	22.432	—	—

昭和八年十二月二十三日印刷
昭和八年十二月二十五日發行

臺北市文武町一丁目一・二番地

臺灣總督府水產試驗場

臺北市上查府町二丁目廿六番地

印刷人 吉村清三郎

臺北市上查府町二丁目廿六番地

印刷所 吉村商會印刷部

14. 2イ-736



1200701252180

終